

ホテルサイト用コンテンツ

キャブ、スマホ版開発

キャブ（東京都千代田区、苦田高志社長、03・6272・9501）は、ホテルのホームページでサイト訪問者の現在地とホテルがある地域を把握し、情報を提供する。スマホにもサービ



スを広げ、3年以内に100カ所のホテルへの導入を目指す。同社はホテルなど宿泊業のウェブサイ

ト制作を手がける。現在地からホテルま

たなくスマホにも対応

集客30%増見込む

交通や比較天気
表示自動手段
手

での交通手段などを自動表示する「おもてなしコンテンツ」を提供して集客に貢献している。

パソコン版では訪問者の位置情報をIPアドレスから判別。スマホ版では緯度と経度から判別し、IPアドレスのないスマホにも現在の情報を表示できるようにする。機能をオンにしない限り位置は判別しない。苦田社長は「スマートフォン版開発で、導入各社の集客約30%増を見込んでいる」と自信をみせる。

「おもてなしコンテンツ」導入の初期費用は20万円、運用費は月額5万円（いずれも消費税抜き）。現在11カ所のホテルに導入済み。2015年度中、さらに10カ所増やすという。